

# 山行報告書

作成:2006年7月23日

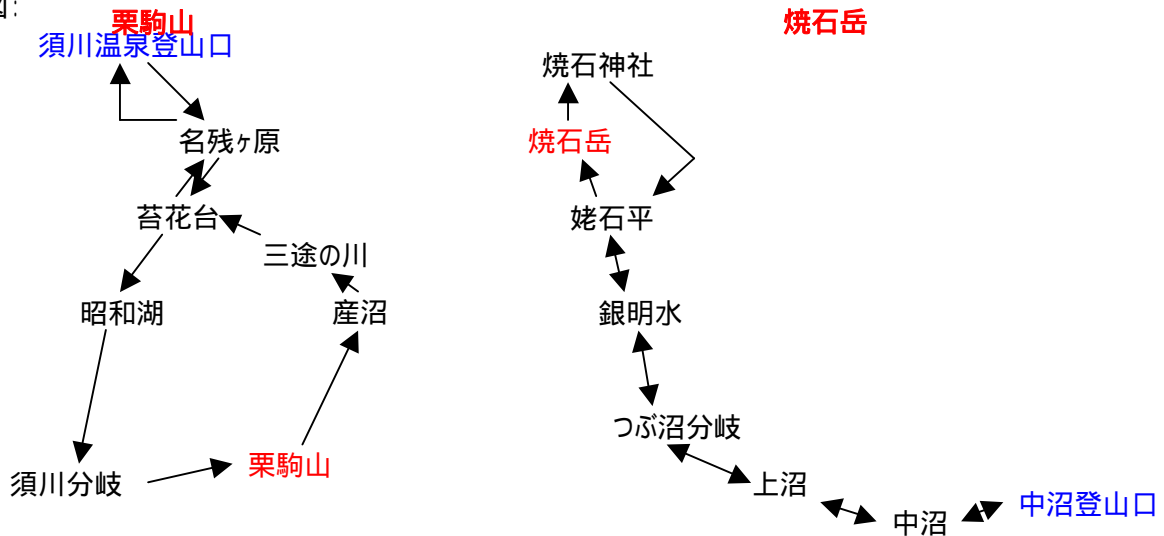
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	栗駒山(1627m) 焼石岳(1548m)[東北]	目的[方法]	花見山行
期間	2006年6月23(金)24日(土)25(日)26(月)	形態	日帰りハイキング
参加人数	4人		

## 行動記録:

6/24(土)曇り 名鉄バスセンター (23日 2130) == 仙台駅(730,830) == 須川温泉登山口(1035,1100) -- 名残ヶ原(1120) -- 昭和湖(1200) -- 須川分岐(1250) -- 栗駒山(1310,1340) -- 産沼(1405) -- 三途の川(1435) -- 苔花台(1455) -- 登山口(1530) -- 須川温泉(1530,1630) == 買出し「マックスバリュー十文字」(1730,1800) == 中沼登山口 T S 1(1930)  
 6/25(土)晴れ T S 1(500) -- 中沼(530) -- 上沼(608) -- つぶ沼分岐(638) -- 銀明水(700,710) -- 姥石平(805,815) -- 焼石岳(840,915) -- 焼石神社(945) -- 銀明水(1110,1130) -- 中沼(1220) -- T S 1(1250,1315) == 温泉「ひめかゆの湯」(1350,1430) == 中尊寺(1540,1700) == 仙台駅(1900,2130) == 名鉄バスセンター (26日 730)

## 概念図:



## 日誌:

名鉄バスセンターを予定通り出発。仙台駅に定刻に着き、駅レンタカーで車を借り栗駒山登山口の須川温泉へ。須川温泉登山口は、広い駐車場があるがほぼ満車状態。しかし温泉に来た客も多く、山は大混雑と言うほどでもなかった。お湯が流れ、硫黄が吹き出ている横を通って山に入る。20分ほどで名残ヶ原に出る。ここは今までの火山の雰囲気と違い、気持ちの良い湿原。ワスレが一杯咲いて、すごく良い所だ。その他にイワカガミ、タテヤマリンドウが咲いている。昭和湖を経由し、時々雲が取れて見える、緑のたおやかな栗駒山頂目指す。頂上は、かなり広くすごく立派な標識が立っている。人気の山だから仕方がないが、立派過ぎて少し興ざめ。帰りは産沼方面を回り下山し、登山口にある須川温泉の露天風呂に入る。風呂は40畳ほどもある木の露天風呂で、湯も白く濁ってとても良い雰囲気だった。風呂を出た後は、車で秋田側へ下り、横手の十文字のスーパーで今夜の宴会のビールと食料を買出し、そこから国道397号を岩手に戻り、狭く未舗装の尿前林道を通って中沼登山口に到着。ここは、トイレもあるので(あまり綺麗ではない)水を持参すれば幕営には良い。

翌日は、リーダのパワーで梅雨時とは思えぬ上天気。混雑を見越して5時に出発。30分で中沼に出る。残雪がある緑のたおやかな山が湖面に映りすばらしい景色。リュウキンカが咲いている。そこを過ぎると残雪が現れ、融けたところではシラネアオイが咲いている。つぶ沼からの道と合流し銀明水でおいしい水を飲む。この斜面では、雪が溶けたところに水芭蕉の群落が見られる。湿地でよく見るが斜面でこんなに見るのは初めて。そこからは大きな雪渓を超えていくがアイゼンは不要。1時間ほどで広大なお花畑の姥石平に到着。時期が1週間くらい遅いのか思ったよりは花が少なかったが、それでもハクサンイチゲ、ヨツバシオガマが咲き、残雪のある緑のたおやかな山。まさに天上の楽園と言った所。そこから最後の登りで、残雪を頂いた青い鳥海山が姿を見せる。すばらしい眺め、人々が拝むのも分かる気がする。頂上は結構広くここでゆっくり昼食。焼石神社を経由して下山。途中、銀明水の避難小屋で休憩。綺麗なところで、ここで1泊するのも良さそう。早く下山できたので、前から行きたかった平泉へ。時間が足りず中尊寺だけではあったが、初めて金色堂を見ることができ満足。車を仙台駅で返し、地下街の店で打ち上げをして予定通り帰還。

## 感想:

最近東北でも車で走っていたが、今回は久しぶりの夜行バス。寝ている間に着いてしまうので、遠くに来た様な気がしないが、それでも楽し。帰りもしっかりアルコール漬けになって満足でした。たまにはバスもいいですね。

残雪のある緑のたおやかな山。広大なお花畑。やっぱり東北の山は最高。また何年か先に訪れたいと思います。